

日が暮れて、夜道になった。1車線。路肩の白線も、見えにくい。
危険なので、スピードは出せない。どうするか。やがて、大型車が、追い抜いて行く。
目印になる。これ幸いと、追いかけたが、スピードが、早すぎる。危険。
運転に慣れているとはいえ、必死だった。



山はみどり 野に花 人にはこころ

やがて、ホテルとの出会い。言葉にならないほど、嬉しかった。
翌朝のホテル。朝日を浴びた建物。部屋には、下記のコーヒーも準備してあった。
宿泊出来ただけで有難い。そして、翌朝の光景は、ラッキー。



翌朝